

●ものの見方・考え方に影響を受けるもの(30分)

ものの見方・考え方に影響する要因を考えます。

上記、お話づくりから発展させます。それぞれが同じであったり、違っていたお話について、私たちが影響しているものは何かをブレインストーミングで全て板書します。

近くの人と2人組になり、ブレインストーミングで出たことで、人は同じものを見聞きしても違ったように捉えるのはなぜかを話しあいます。何か出来事があったとき、その出来事について多くの違いがあるのはなぜか考えます。

2人組から4人グループになって、違った見方や考え方で利点になること、難点になることを模造紙に書き出します。

そして、何か出来事があったときに、それについて伝えたり、聞いたりするとき、悪影響を与えないために私たちができることをグループで考え、発表します。

📢 ファシリテーターの問いかけ

「お話づくりで同じだったこと、違っていたことから考えて、私たちのお話づくりに影響していることは何でしょうか」

「人は、同じ情報を見たり聞いたりしても捉え方が違うのはどうしてでしょうか」

「そのときの気分や過去の体験によって捉え方は違います」

「その違いに影響するのは何でしょうか」

「日ごろ、見たり聞いたりしていることを誰かに伝えるとき、その事実がどのように変わっていくのかを考えます」

「では、今の情報社会において、何か出来事があったとき、それについて伝えたり、聞いたりするとき、その出来事や情報が悪影響にならないために私たちにできることを考えてみましょう」

●ふりかえり(10分)

📢 ファシリテーターのコメント

「多様な見方や考え方の違いは、私たちが日々経験したり見たり、聞いたりして身につけている個人の捉え方にあります」

「時には無自覚に身につけてしまっていることも、この捉え方の違いにはあります」

「それぞれの捉え方を否定するのではなく、なぜ、そう捉えるのかを深めていくことが大事です」

